

『ゴルフとは、自らを自らで励ますこと。』



バリューゴルフ  
**VALUE GOLF**  
www.valuegolf.co.jp

## アマチュアスポーツの再考察

日本のアマチュアスポーツ界で不祥事が続いている。一昨年のバドミントンの選手の賭博問題から、女子レスリング協会、さらには、大学のフットボール、そして最近では、アジア大会のバスケットボール選手の不道徳な行いなど、とにかく雨後のタケノコのごとく噴出してきている。これらのニュースがインターネットを通して、世界のスポーツ界全体に知れ渡るため、日本という国のスポーツの考え方が、疑われてもしょうがない状況である。一方で、東京オリンピックまであと2年。メディアや関係者は既に東京オリンピックの本番を迎えていると言ってもいい。新国立競技場の建設はもちろんのこと、卓球の会場となる東京体育館は今年休館し、ウエイトリフティングの会場となる東京国際フォーラムや柔道の会場となる日本武道館は来年休館してオリンピックに備える。オリンピックの期間は約1カ月と短い期間なのだが、準備期間を入れると、2年から3年という時間的にも大掛かりな大会である。そんな最中に、続々と起きた不祥事ではあるが、ある意味でアマチュアスポーツ界の“膿”を徹底的に出し切るいい機会でもあると思う。

何れにしても、スポーツの各団体がある種の利益団体となり、その権力者に金銭だけでなく、人間の教育まで任せてしまうのは、封建的と言わざるをえない。国民の税金が当然そこには投入されているわけだが、今回トラブルを起こした人たちは、そんな認識すら持っていないと思う。

私からの提案は、単純に次の二つのことである。このことは徹底的に今すぐ是正すべきであると考え。一つは経理の問題で、やはり団体のお金は専門の会計士の下で常時第三者がチェックし、その管理はリアルタイムで選手までもが共有すべきであると思う。そうすることによって、アマチュアビジネスといえども、その経営に関して、責任を持てる組織が出来上がるのである。

二つ目は、選手の育成に関して。精神主義的なものも必要なこともあるが、基本的には今や科学的、合理的なプログラムが優先されるべきだと思う。つまり、その競技で実績を上げた先輩OBが選手のマネージメントをやることそのものに無理があるのだ。人材は環境と努力で成長する。したがって、優秀な選手を輩出することとはそんなに簡単なことではないということである。



戸張 捷 Sho Tobaru

1945年、東京生まれ。  
高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業(現SRIスポーツ)に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。